

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

・高梁市川上町高山市



時代

・江戸時代



指定年月日

・平成7(1995)年  
4月8日



所有

・穴門山神社



見学

見学可

あなとやまじんじゃほんでん・はいでん つけたりむなふだ

穴門山神社本殿・拝殿 附棟札

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠  
社島敷掛原口庄岡  
市町市町市町市



## この建造物について

あな と やま じん じゃ

へい あん

こ もん じよ

しん こう

穴門山神社は、平安時代前期の古文書にも記されており、古代から多くの人々の信仰を集めていた神社とされています。

げん ざい

え ど

ころ

びつちゅうまつ やま はん しゅ いけ

だ なが つね

ほん でん

はい でん

さい けん

現在の建物は、江戸時代のはじめ頃に備中松山藩主池田長常が本殿・拝殿を再建し、その後江戸時代中ごろに改修されたことが棟札からわかっています。

また

拝殿

も

棟札

が多く

残されて

おり、

修理

の

履歴

がよく

わかって

おり、

周辺

には

備中

松山

藩主

池田

長常

主が寄進した石灯籠も残されていて、備中松山藩主にも重視された神社であることをうかがうことができます。